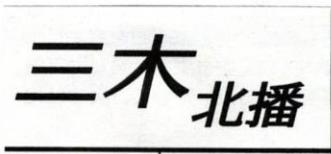


県立小野工業高等学校 定時制課程

『課題研究作品』が地域のために…新聞に掲載されました



神戸新聞 令和3年1月18日(月)朝刊



手先使うゲーム寄贈

小野工高生ら手作り

志染の特養ホームに

小野工業高校(小野市片山町)定時制課程の生徒らが、三木市志染町四合谷の特別養護老人ホーム「りんどうの里」に、手先を動かして遊べる木製のボックスゲーム20個を贈った。施設の担当者は「リハビリや脳の活性化、利用者や職員の

8号四方の箱を作り、穴の中に球を入れたり、サイコロを取めたりして楽しむ。材料は自分の手で切り出し、

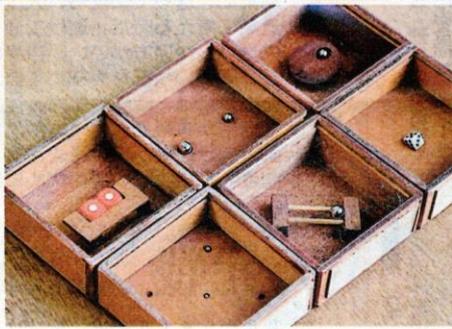
は年明けまでかかった。木

るよう、6種類のゲームを用意した。昨年6月に企画し、完成

電子版「神戸新聞NEXT(ネクスト)」の紙面ビューワーでは全地域版がご覧いただけます。

詳しくはWebで? [神戸新聞](#) 検索

●ボックスゲームを手渡す小野工業高校の猪坂悦菜さん(左)
 ◎6種類あるボックスゲーム。橋に球を乗せるゲームもいずれも特別養護老人ホームりんどうの里



箱はいずれの辺も90度になるように組み上げる。そのため「何度もやり直した」と同校機械科4年の猪坂悦菜さん(18)。使う人が手を痛めないように、サンドペーパーで箱の角を磨いて丸くする気遣いも。

猪坂さんは「外に出にくい状況が続く、家で遊べるものを考えた」といい、「少しでも多くの人に楽しんでもらえたらうれしい」と笑顔で話した。

(藤原拓真)



また、本校ではこれとは別に、定時制でがんばる生徒たちが工業の技を生かして力を合わせ、ワールドマスターズゲームズ2021 関西 大会マスコットの“スフラ”の展示用スタンドを製作し、貢献しています。



桜をモチーフとするスポーツの妖精 スフラ